

占冠村の宿泊税の考え方に関するご意見

意見	回答
1 宿泊税の目的は宿泊者が納めた税を使ってこれから訪れる人々がより良い観光地あるいは地域として次の世代に役立つことを願っていると思います。	意見としてお伺いします。
2 税を役立たせるために税の使用する範囲を予め決めておくこととします。 ① J R 駅にエレベーターを作ります。 ※長い階段に重いスーツケースは大変なことです。 ② 防災のために宿泊客、住民のため予め備品の準備を毎年少しずつでも備えること。	意見としてお伺いします。 ※駅の設備については J R の範囲と考えております。現時点で村としてできる対応としては J R への要望と考えています。 観光に係る防災の備えについては、使途の検討に含めてまいります。
3 村の課税要件の概要②（税率）では宿泊料金は素泊まり料金となっており、新たに税率 6 千円以下は無料とする欄を作ること。 これにより工事関係、一般客等は無税になり他市町村への宿泊客の流出を防ぐことが考えられます。また、学校関係の宿泊も心配いりません。また、障がい者への考慮も必要と思います。	工事関係等の事業者が仕事で中長期間、占冠村の宿泊施設を利用していることは把握をしています。またその事業者が他市町村へ流出する恐れがあることも認識はしています。 宿泊税は、占冠村に宿泊をされた方は一定の占冠村が行う行政サービスの提供を受けていることから皆様に平等にご負担をいただくという趣旨のものです。

意見	回答
4 宿泊税が安すぎる。	事業者の皆さまの負担にならないよう、北海道の宿泊税額を基本として税額を決めさせていただきました。協議会の中でも委員の皆様にご確認をいただいておりますのでご理解ください。
5 冒頭にある『持続ある観光施策を推進するため新たな財源』とあるが、具体的に使用目的が分からない。	占冠村が行っている観光施策、又は観光振興を進めていく中で必要なもの、あるいは新たに必要となってくる経費と考えています。
6 基本的な考え方についても記述されているが具体的なことがさっぱりわからない。	税の活用の目的です。これまでの施策を継続しながら、多くの観光客が訪れていただけるよう宿泊税を観光振興の施策に活用したいという趣旨です。
7 宿泊税の使い道の項目では、課題解決に活用しますとあるが何が問題となっているのかわからない。	村で認知している事例でご了承願います。 ・増加している外国人観光客や住民への対応が遅れている ・村の観光事業を担っている団体の人材の不足が否めない ・観光関連施設の老朽化やユニバーサルデザイン化など
8 5点の項目が記述されているが、その問題点をどう活用するのか想定する事例を知りたい。	課題解決のための活用の他、必要と考えられる事業への活用を考えています。事例として紹介します。※協議会資料から抜粋 ① 地域の資源を活かした観光地づくり 「道の駅」自然体感しむかっぷ運営、湯の沢保養施設温泉運営 など ② 地域の魅力の発信

	占冠・村づくり観光協会運営補助事業、イベント支援、占冠村特産品開発等事業 など ③ 人材の確保・育成 観光人材の育成等、商工会運営補助事業、民間住宅建築補助事業、子ども応援住宅支援事業 など ④ 新たなインフラの整備 救急医療体制の整備、廃棄物処理対策、多か国言語観光デジタルサイネージ など ⑤ 外国人対応 多か国言語の案内（バス、ごみ分別、災害、医療など生活に必要なもの）作成事業、デジタルパンフレットなどデジタルに対応していく環境づくり、外国人観光客受入れ体制の整備 など
9 意見は条例施行の参考にとあるが、それ以前に沢山の情報を村民に提供してほしい。	改めて協議会の資料を活用するなど行政区回覧をする対応を検討します。